

# 書写通信

姫路工業大学  
アメリカン  
フットボール部  
OB 会報

## TO OLD BLUE

### 第7号 [春号]

2001年 6月30日

編集責任者 田中 角栄  
吹田市津雲台 3-2-A11-304

### 創部 35 周年記念ゲーム 姫路獨協大交流戦試合結果

毎年ゴールデンウィークのイベントとして恒例となっている OB 戦は、創部 35 周年を記念し姫路獨協大学との交流戦を行いました。OB・現役併せた総勢 67 名の混成チームで試合に挑みました。

日時 2001年 5月5日 14時00分キックオフ

場所 姫路工業大学グラウンド

天候 曇り

#### 試合の経過

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
姫工大	0	13	0	0	13
姫独大	6	0	7	0	13

今回は、前半を卒業3年以上の卒業生でユニットしたシニアチーム、後半を卒業3年未満の卒業生と現役学生でユニットしたヤングチームを各校それぞれで構成した対戦となった。

試合は序盤から大きな盛り上がりを見せた。自陣 30yd からの姫工大 OB チーム第一シリーズ、#42 高平(96 年卒)の 25 yd ゲインが姫工大サイドラインを湧かせた。しかし、最初に均衡を破ったのは姫独大だった。自陣ゴール前からの姫工大パントを大きくリターンされ、ゴール前 3 yd までボールを運ばれてしまった。直後のプレーで WR への out パスをきめられ先制を許してしまった。しかし、姫工大は試合開始から確実にゲインを見せていた#24 上村(95 年卒)のダイブで徐々に陣地を進めていった。

これに対して姫独大 Offence は、第 2 Q にはいりショットガン体系で反撃にでたが、DE に入っていた#56 水上(99 年卒)の QB サックで大きくロス、これをパントに追いやった。このパントで、スナップされたボールが姫独大パンターの頭上を大きく超え、姫工大は敵陣ゴール前 2yd からの攻撃となり、#24 上村のダイブで TouchDown を奪った。次の姫独大の攻撃には、オプションピッチでファンブルしたボールを、DE#70 石田(93 年卒)が押さえ、再び姫工大に得点のチャンスがきた。これを QB#11 勘那(98 年卒)のオプションキーププレー、#24 上村のダイブによりゴール前まで攻め込み、最後は#17 滝井(93 年卒)へのタイミングパスで追加点をあげた。

後半に入り、姫独大の Offence は Pro-I 体系からのパスを中心とした組み立ての攻撃であった。これに対し姫工大はラン・パスを組み合わせた巧みな攻撃を見せる展開となった。姫独大の自陣からのパントで、ナイスパントとなった直後の姫工大自陣 20yd からの攻撃は、スナップされたボールをファンブル、そのフリーボールをそのまま姫独大 Defense にゴールエリアまで持ち去られ同点となった。第 4 Q に入り、自陣 18yd からの攻撃で RB#24 小田(2000 年卒)のオフタックルで敵陣 4 yd までボールを進め、RB#33 小林(3 年)、RB#2 安藤(3 年)のダイブ、オフタックルでゲインするものの得点には結びつかなかった。残り時間も少なくなった姫工大の最後の Offence シリーズで敵陣 35 yd から WR#9 大畑(4 年)へのパスでゴール前 10yd まで攻め込んだ。#2 安藤のプラストでゴール前 2yd まで前進、この時点で残り 2 秒、最後に同じく #2 安藤のスweepプレーを試みたが残り 1yd 届かず試合終了。初の交流戦の結果は 13 対 13 の引分けとなった。



## OB 総会のご報告

( 会計報告、OB 会費の使い方について )

35周年記念ゲームのオール姫路工業大対オール姫路獨協大が終了後、懇親会開始までの時間を利用してOB総会を行いました。議題は2点で一つは昨年度会計報告です。2000年度の収支決算については下記をご参照下さい。

チームの発展に貢献するものに使うことと、本紙の配布、コーチングスタッフや役員(評議委員)、審判への交通費に充てることを目的としてOB会費を集めさせてもらっていますが、昨シーズンの支出は書写通信配布と坂野コーチ(甲南大卒、奈良県在住)の交通費のみとなっています。コーチングスタッフや役員の交通費が計上されていないのはチーム成績が初期の目標を達していないことから見送られた経緯があります。結果として県外からのコーチの書写通いは個人の負担となっています。この場で改めてOB会費をコーチの交通費の交通費に支出することを理解願ひみなさんの了解を得ました。またこれまで通り、チームに必要な機材、選手やコーチのトレーニング(学習)に関する費用にも充てさせていただきます。

もう一点は監督交代についてです。この5月5日をもって姫路工業大学ブルーライナーズ監督を匠監督から金谷ヘッドコーチに引き継ぎます。今期は既に関西学生アメリカンフットボール協会へ匠監督が監督として登録されているため、名目上は金谷”監督代行”ですが実質的な代表者として活動します。

収入		支出	
OB会費 (OB戦時預かり分)	156,000	書写通信配布 (3号)	17,010
14名 x 0,000円		書写通信配布 (4号)	7,110
3名 x 5,000円		書写通信配布 (5号)	6,810
1名 x 1,000円		書写通信配布 (6号)	9,480
OB会費 (口座振込み分)	70,000	坂野コーチ交通費補助	15,000
7名 x 0,000円		筋肉塾派遣費用	5,200
昨年度繰越金	157,560	次年度繰越金	323,159
銀行口座利子	209		
合計	383,769	合計	383,769

### 今後のOB 会費の使用方法について

現在、OB 会費を次のような項目・目的で使用したいと考えています。御了承頂きますようお願いいたします。

#### 時計 (試合時間計測用)

日頃から、タイムコントロールを意識した練習を行うために残り時間を表示させるものです。

#### 書写通信・その他の配布費

書写通信や試合案内などをOBの皆様へ御連絡するためのものです

#### 交通費

審判・コーチの個人負担を減らすためのものです。

## 春季試合結果

### 西日本学生選手権

VS 大阪工業大学

日時: 4月7日 14:30キックオフ

場所: 西宮球技場

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
姫工大	7	0	0	0	7
大工大	2	7	0	6	15

### OB 戦(35周年記念試合)

VS 姫路獨協大学 AllStar

日時: 5月5日 14:00キックオフ

場所: 姫路工業大学グラウンド

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
姫工大	0	13	0	0	13
姫独大	6	0	7	0	13

### 春季練習試合

VS 京都外語大学

日時: 6月10日 14:00キックオフ

場所: 京都外語大学グラウンド

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
姫工大	0	12	8	0	20
京外大	7	0	0	0	7

VS 全日空

日時: 6月24日 14:00キックオフ

場所: 篠山海洋 B&G センターグラウンド

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
姫工大	0	0	0	0	0
全日空	0	24	6	14	46

VS 大阪大学 (予定)

日時: 7月8日 14:00キックオフ

場所: 大阪大学グラウンド

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
姫工大					
大阪大					

# 2001年新入生のご紹介

名前 学部・学科 出身校 スポーツ経験 希望ポジション 一言



中畑 友梨子  
理学部 生命科学化  
桐蔭  
ソフトテニス

頑張ります。



篠宮 史枝  
理学部 生命科学化  
徳島北  
硬式テニス

頑張ります！



高岡 孝行  
工学部 電子工学科  
三原  
サッカー

OL  
頑張ります！



山内 康嗣  
理学部 生命科学科  
金蘭千里  
サッカー

C  
日本のためにがんばります。



田中 秀和  
工学部 電気工学科  
伊丹北  
吹奏楽

LB  
めざせ！！見せる肉体



伊藤 貴広  
理学部 物質化学科  
広島学院  
バレー・フェンシング

WR  
最低二部！！



飯塚 均  
環境学科  
飾西  
バレー

TE  
ファイト！！



大西 玄陽  
理学部 物質化学科  
智辯学園  
お琴少々

WR  
冷やし中華食わせろ！



上田 安紘  
理学部 物質化学科  
洛南

QB  
チームのためにがんばります



木村 公洋  
理学部 物質化学科  
智辯学園  
サッカー（小学生のとき）

RB  
チームのため、自分のために  
がんばるぞ！！



平野 朋宏  
理学部 物質化学科  
滝川  
サッカー、バスケ、ドッジ、陸上（短）

LB  
ブツ潰す

## 匠監督辞任、金谷監督就任の挨拶

OB総会のご報告でもご報告いたしました監督交代について、匠監督・金谷新監督のお二人からお言葉を頂きました。

### 【匠監督】

このたび監督を退くこととなりました匠です。約10年間監督としてチームに関わってきましたが、この間OBのみなさまには多くの援助やアドバイス、また叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。シーズン途中で退くことを決意した理由としては、新チームになって以来、仕事が忙しく練習に参加する回数が少なくなり、コーチングスタッフや選手をまとめることもままならなくなりました。中途半端な形でチームに関わることは選手や他のコーチに迷惑がかかると考えた上での決断しました。また個人的な理由としましてはこれまで家族の理解のもと週末をチームに捧げて来ましたが、今後は家族との時間を大事にしていきたいとの思いもあります。

思い返せばコーチとして関わりたいと思った出発点は私の一学年下の代でブロック優勝を果たしたものの、他ブロックの優勝チームと入替戦出場を掛けて戦ったゲームの敗北にあります。相手であった大阪工業大学は完璧なスカウティングを行っておりこちらの得意プレーは全く出ず、逆に弱点をとことん突かれました。当時留年でもう一年在学していた私はサイドラインで大阪工業大学とのレベルの差に「フットボールは総合力が必要だ」と痛感し、卒業後も微力ながらチームに尽くしたいと思いました。ブルーライナーズのチーム作りの基本は学生中心にあります。これまでも4年生幹部を手助けするといったスタンスで関わってきました。歴代の主将はそれぞれ上手にチームをまとめ引っ張り好成績を残してくれました。4年生中心のチームとなるとややもすれば旧チームの方針を全面否定した上で新チームがスタートする”スクラップ&ビルド”が激しくなりますが、できるだけ各代の良い面を伝えていく作業を心がけたつもりです。またコーチのマンパワー不足を補うため在学OBによるコーチングを目指しましたが完全には定着しておらず今後の課題だと思えます。

後任としましては金谷ヘッドコーチに監督を引き継いでもらいます。金谷コーチは自身の長いフットボール経験から技術的なレベルも高くこれまでのチームでも中心的な位置を占めており選手や他コーチからの信頼も厚く、安心してチームを託したいと思えます。しかしチームとしては厳しい状況にあるのは変わりなくこれまで以上にOBのみなさまのご協力ご支援をよろしくお願ひします。私は今後コーチングスタッフからは外れますが、これまで通りOB会の世話役として関わっていく所存です。OBとチームをつなぐパイプとなりチームの発展に少しでも貢献したいと思えますでよろしくお願ひします。



## 【金谷監督】



現役選手引退後、約10年に渡りブルーライナースを懸命に支え、チームの発展に尽力された匠監督が諸事情によりチームスタッフを休業されることになりました。

その後を継ぎ代行監督としてチームスタッフを率いることになりました金谷祥治（平成4年機械卒）です。

匠監督から、監督代行の話聞いたときは、あまりの大任に気後れましたが、長期間チームに奉仕された匠監督が気持ちよく休業できるよう大役をお引き受けしました。

今までと基本方針は変わりません。チームの悲願である2部昇格達成のために

- 1 . 戦 闘 力 強 化 の た め の 基 礎 体 力 の 向 上
- 2 . 勝 つ た め の フ ッ ト ボ ー ル 知 識 の 向 上
- 3 . 基 本 動 作 を 軸 と し た 技 術 全 般 の 向 上
- 4 . チ ー ム 力 の 源 で あ る モ ラ ル の 向 上
- 5 . チ ー ム ス タ ッ フ と チ ー ム 環 境 の 強 化

以上の項目に重点を置きチームを支えようと思います。ご支援ご声援お願いします。

## 編集後記(その1)

35周年記念ゲームでは多数のOBに集まっていたありがたいとご感想です。個人的な感想ですが、例年やる現役とのゲームより同じOB同士なので楽しくかつ身体への負担（痛み）が少なかったのが良かったです。

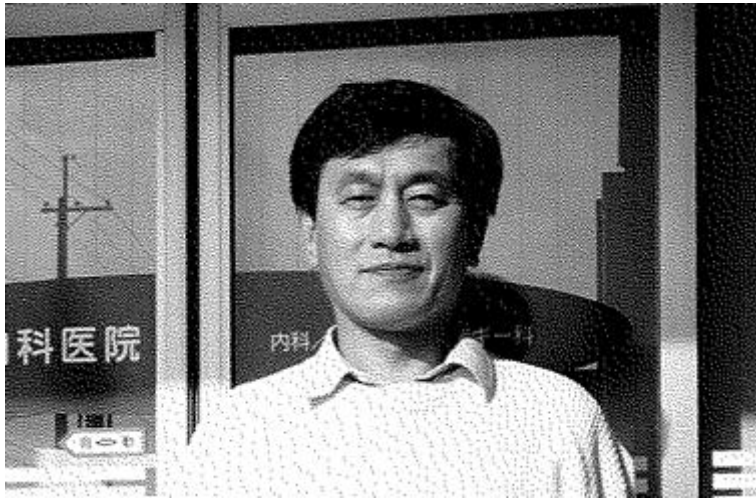
また試合後私と年代の近いOBといっしょに小谷君の墓参りが出来たことも良かったです。平成2年のOB戦最中に脳内出血のため倒れた小谷君は7年間意識が戻らずベッドに横たわったままこの世を去りました。現役フットボーラーのまま。そんな彼の靈前に心地良い身体の痛みを感じつつ、昔一緒にしんどい練習をしてきたチームメイトと訪れることができタイムスリップしたように昔話に花が咲きました。

夜の懇親会でも大いに盛り上がりました。宿泊したOBは10名足らずでしたが現役選手に飲ませようと買ってきた焼酎の大瓶は結局OBだけで飲む始末でした。

残念なのは例年と変わらず来ていたOBはほとんど卒業後10年までの年代だったことです。古いOBの方にももっと参加しやすくなるよう検討したいと思います。

## 昔の俺、今の俺

まずは、今では想像もつかない京都大学との合同練習をお話いただく上田さんです。



皆さんはじめまして、46年応化卒業の上田です。高校時代は柔道をしていました。当時、兵庫県ではいつもベスト4に入る実力あるチームでした。しかし、「雑巾ダンス」といわれるくらい男の体臭と汗にまみれ、時々インキンタムシにも悩まされ、女生徒が応援にも来ないのが柔道部でした。それに懲りて、今度はテニスなどのようなもっと楽しそうなクラブに入ろうと考えていたのですが、45年卒の覚田さんをはじめ諸先輩方に熱心に(しつこく?)勧誘されて入部してしまいました。当時、アメリカンフットボールと言う

スポーツ自体日本ではマイナーであり、私自身も映画館のニュースでこんなスポーツもあるんかいな、と少し知っているくらいなものでした。関西では、関関同立、京大、甲南大、近大のリーグがあるだけで、我が工大と同時期に追手門大、桃山大、阪大、大阪芸大などのアメリカンフットボール部が産声を上げた時代でした。そんな頃ですから当然防具も揃っておらず、アメリカ進駐軍の払い下げ品を先輩方が仕入れてこられ、これを使うようにとのことでありがたく拝借したわけです。なんせ米兵の中古品だからサイズが大きくてヒップが腰からずれて前のほうに寄りしてしまっていました。ヘルメットもよく壊れなかったなといったシロモノばかりでした。ニーパット、サイパットに至っては、毛布を切って母親に厚く縫い合わせてもらった物を使用していました。こんな装備なので練習や試合では痛い痛くないのって、言葉では言い尽くせませんでした。ジャージも綿のため雨の日には水を良く吸って重くなるし、おまけにつかみ易くなるため相手に引っ張られるとすぐに倒されると言う最悪の状態でした。それでもこんなものだと純真にボールを追いかけていた古き良き時代でした。

そんな中で今でも印象に残っている事がいくつかありました。2回生の夏の合宿の事です。その頃から神鍋で合宿していたのですが、幸か不幸か京大と合同練習する羽目になってしまいました。ポジションはタックルでしたが最初のスクリメージでヘルメット同士がぶつかった瞬間、頭がクラクラとし軽い脳震盪を起こしました。後にも先にもこんな経験は初めてでした。とにかく彼らは、頭を低くしスピードに乗って当たってきました。コーチの指導は「ヘルメットで相手のキンタマめがけて当たっていけ。」でした。(少々下品なことを書いてしまって申し訳ありません。)また、100ヤードダッシュと言うのがあり何本も繰り返すわけです。これはさすがにしんどかった。もうへ口へ口で精も根も尽き果てました。工大チームはこの辺で練習を許してもらいましたが、彼らはその後も練習を続けていました。彼らの練習は非常に合理的であり、あの強さはそれを支える豊富な練習量にあるとつくづく思いました。

もう一つは4回生の追い出しコンパで南紀方面へ旅行した時のことです。車3台に分乗して行ったのですが歸路についたとき、見通しの良い直線道路で一台が道端の田んぼの中へ転落してしまいました。車はちょうど一回転して仰向けにひっくりかえってたのです。乗っていたのは4回生、3回生、2回生(運転者)、1回生でした。幸い大した怪我は無かったのですが、とにかく全員車ごとひっくりかえった訳ですから大なり小なり打撲をしました。結果、4回生：顔のかすり傷のみ、3回生：ごく軽いむちうち、2回生：ほぼ無事、1回生：むちうちで通院加療が必要、であった。当人達には申し訳無いのですが上級生ほど頭や首が良く鍛えられているんだと再認識したのを思い出します。私自身は工大を卒業し就職したのち針路変更し、今は神戸の西神中央で内科医院を開業しています。皆さんこちらに来られることがありましたら是非立ち寄ってください。最後になりましたが、この様な寄稿の機会を頂いたのも勧誘をしてくださった先輩達のおかげですし、その後も脈々とアメフト部を引き継いで発展させていってくれている後輩の皆さんへ重ねてお礼申し上げます。

次回は、とてもセンスの良かったランニングバックの鈴木正一君に登場してもらいます。

続いては、福岡雅彦さんの紹介で本郷さんから挨拶を頂きました。その思い出に共感を覚えてしまいます。



福岡君、娘さんが嫁がれたそうで、もうおじいちゃんになるのも時間の問題ですね。50年機械科卒業の本郷です。卒業後しばらくは試合やOB戦などに顔を出させてもらっていましたが最近はずっかりご無沙汰しており申し訳ありません。このOB通信を読んでいると当時のことが懐かしく思い出されてきました。

入学する前の年の甲子園ポウルをテレビで見ている面白そうやなと思っていたところ、グラウンドで練習しているのを見かけ、人数も少なかったのだから試合にも出れそうだなと思って入部しました。けれど、その時はこの部員の少なさがどれほどたいへんなことか知る由もなかったのですが。とはいっても、そのころ関学でも部員数は30人程度で攻守兼用があたりまえの時代でしたし、関西学生リーグも1、2部合わせて20チーム(その内2チームは名古屋の大学でした)しかない超マイナーなスポーツではあったのですが。

ポジションは、センターをしていた上級生が骨折したいたために、ちょっとやってみいといわれて4年間、体重58kgのセンターとして

自分でもよく続いたなと思います。体力も体格も運動能力も無い選手だったけど本当に楽しかった。ルールも知らずにでた試合、88点も取られた試合、10人で戦った試合、台風の中の試合、試合中に審判をしていた古川専務理事にブロックの仕方を教えてもらったこと、初勝利の相手が創部初試合だったため大差で勝ってしまい感激が少なかったこと、攻守出ずっぱりのとき負傷してベンチに戻った時他のチームのように交代選手がいればこんなに楽なのかと思ったこと、試合でけがをした相手の選手のお見舞いに行った時に、相手の親からあんなら強いんだから加減をしたらと言われたこと。他にもいろんなことを思い出します。

就職した会社が合併、合併で気が付いたら王子製紙となりそこから出向で、現在、大阪天満宮でバーコードプリンタ等の営業をしています。昨年までは息子がお世話になったことがきっかけで7年間少年野球の指導者をしていましたが、今年になってお役ごめんとなり、今は、現役時代、増やそうとして増えなかった体重を、スポーツジムに通いながら減らそうと努力しています。

次回は1年上のキャプテンで工大のフットボールを近代フットボールに転換させた花井さん、長い間お会いしていませんがお元気な姿を見せてもらえないでしょうかお願いします。

## 編集後記(その2)

今回より書写通信編集を匠監督より引継ぎました、96年卒業の田中角栄です。至らない点などありますが宜しく御願いたします。ここでは、最近のフットボールを取巻く環境についてお話ししたいと思います。

関西3部リーグに規定人数である20人に満たないチームが毎年数チームありましたが、少子化が影響した今年は5大学(全30大学)がその対象となり、2部リーグですら、規定人数不足による自動降格となる大学が出るという事態が発生しました。この学生選手数の減少に比例してか、年々試合観戦者数が1部リーグも含め激減しています。

また、なかなか脱出せない不況が影響し、春季のBIGイベントの一つである平成BOWLのスポンサーから、シャープが撤退を発表しました。今年も参加予定校である関学・京大の大学・OB会が出資して、開催する事となりましたが、来年で降は全くの未定であります。

このような話題が多く耳に入り、学生フットボールファンの一人として大変寂しい限りです。

今後フットボールを繁栄させるためには、多くのファンを試合会場へ足を向けさせる試合をたくさんしなければなりません。そのための手助けが少しでもできればと私は考えています。